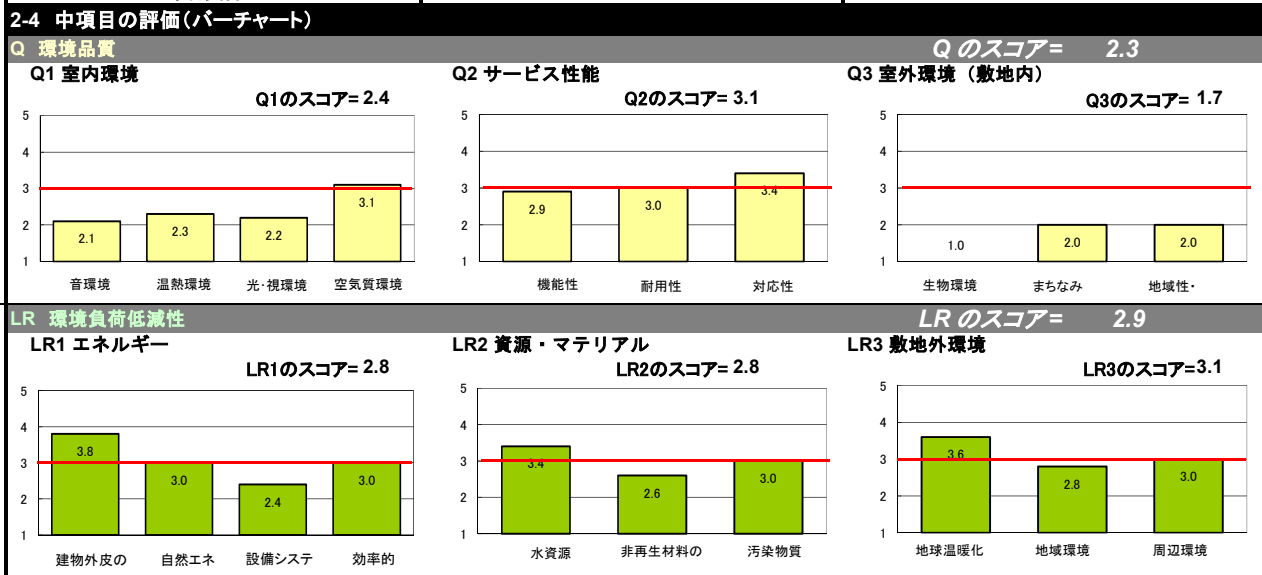
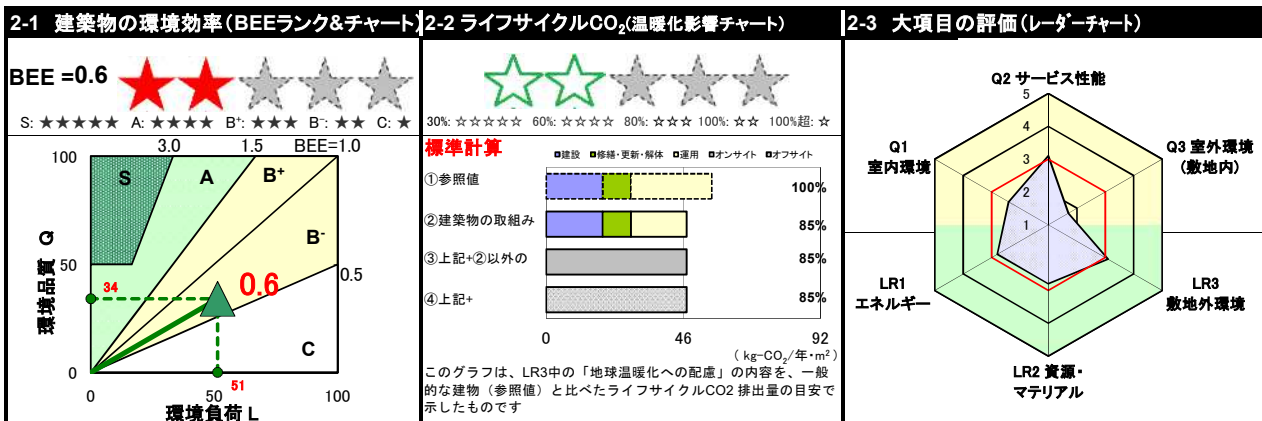


1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社ヤマダコーポレーション倉庫棟増築工事	階数	地上3F、地下0階	
建設地	相模原市中央区宮下1丁目224-100他	構造	S造	
用途地域	工業専用地域・法第22条地域	平均居住人員	50 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2026年8月 予定	評価の実施日	2025年2月8日	
敷地面積	2,535 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社南関東建築一級建築士事務所	
建築面積	1,306 m ²	確認日	2025年2月8日	
延床面積	3,555 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社南関東建築一級建築士事務所	

#VALUE!



3 設計上の配慮事項		
総合		
JR横浜線橋本駅から徒歩10分の工業専用地域に、主用途が倉庫となるS造、3F建を計画した。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
自然換気有効開口面積が居室面積の1/30以上	耐用年数の長い内装材の採用	—
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BPI=0.91	自動水栓に加えて、節水型便器を採用。	—

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される